

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-196983

(43)Date of publication of application : 14.07.2000

(51)Int.Cl.

H04N 5/765

H04N 5/781

H04N 5/225

(21)Application number : 10-356079

(71)Applicant : FUNAI ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing : 15.12.1998

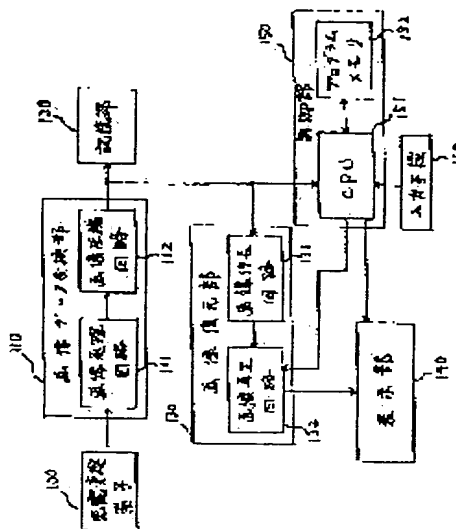
(72)Inventor : MINATO HIROYUKI

(54) ELECTRONIC STILL CAMERA, METHOD FOR CONTROLLING IT, AND RECORDING MEDIUM RECORDING ITS CONTROL PROGRAM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an electronic still camera to which a file name, etc., can be inputted in a short time.

SOLUTION: An electronic still camera is provided with a photoelectric conversion element 100, a picture data converting section 110 which converts signals from the element 100 into picture data, and a storing section 120 which stores the picture data from the section 110 and the data about file names, etc., (file names and serial numbers). The camera is also provided with a picture restoring section 130 which restores the picture data from the section 120, a displaying section 140 which displays the pictures, etc., restored by means of the section 130, and a control section 150 which controls them. In addition, the camera is also provided with inputting means 160 (character keys, a conversion key, and an input key) which are used at the time of inputting the file names, etc., and giving instructions regarding the data about the file names. The control section 150 has a program memory 152 which stores a program for shortening the time at the time of inputting the data about a new file name and a CPU 151 which performs control in accordance with the program. When, for example, it is required to continuously give the same file name to continuous picture data, the time and labor required at the time of inputting the file name can be saved.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-196983

(P2000-196983A)

(43)公開日 平成12年7月14日(2000.7.14)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	ターム(参考)
H 0 4 N 5/765		H 0 4 N 5/781	5 1 0 L 5 C 0 2 2
5/781		5/225	F
5/225			

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平10-356079

(22)出願日 平成10年12月15日(1998.12.15)

(71)出願人 000201113

船井電機株式会社

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

(72)発明者 湊 浩之

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井

電機株式会社内

Fターム(参考) 5C022 AA13 AB68 AC69

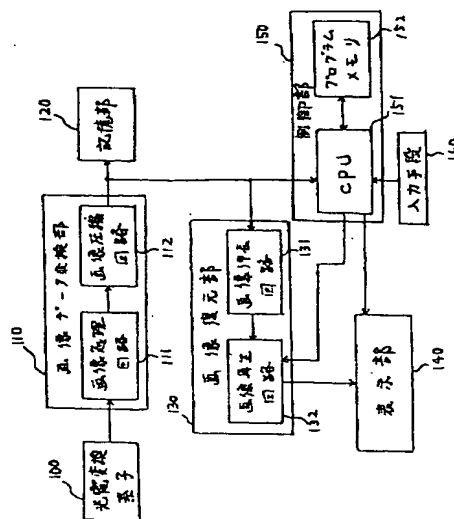
(54)【発明の名称】 電子スチルカメラおよび電子スチルカメラの制御方法並びに電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体

(57)【要約】

【目的】 ファイル名称等のファイル名の入力の手間が
少ない電子スチルカメラを提供する。

【構成】 光電変換素子100と、この光電変換素子100からの信号を画像データに変換するための画像データ変換部110と、この画像データ変換部110からの画像データとファイル名(ファイル名称+連番)のデータとを記憶する記憶部120と、この記憶部120からの画像データを復元するための画像復元部130と、この画像復元部130において復元された画像等を表示させる表示部140と、これらを制御する制御部150と、ファイル名称の入力と、制御部150にファイル名のデータに関する指示とをするための入力手段160(文字キー・変換キー・入力キー)とを備えている。制御部150は、新たなファイル名に関するデータを入力する際の手間を少なくするためのプログラムを記憶したプログラムメモリ152とこのプログラムによって制御を行うCPU151とを有している。例えば、連続した各画像データに同じファイル名称を続けて付与したい場合に、ファイル名称の入力の手間を省くことができる。

電子スチルカメラ



【特許請求の範囲】

【請求項1】 光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラであって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段による所定の選択によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータを有する新たなファイル名のデータを付与して前記記憶部に記憶する構成となっていることを特徴とする電子スチルカメラ。

【請求項2】 光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラであって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段による所定の選択によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータと、このファイル名称のデータに付随した連番データをカウントアップして得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを付与して前記記憶部に記憶する構成となっていることを特徴とする電子スチルカメラ。

【請求項3】 光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラであって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段によってファイル名称が入力された際に、このファイル名称と、前記画像データよりも前の画像データに対応するファイル名称とを比較し、同一ファイル名称があった場合には、この同一ファイル名称のデータと、直前の同一ファイル名称のデータに付随した連番データをカウントアップして得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを、前記リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して付与して前記記憶部に記憶する構成となっていることを特徴とする電子スチルカメラ。

【請求項4】 光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラの制御方法であって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段による所定の選択によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータを有する新たなファイル名のデータを付与して前記記憶部に記憶することを特徴とする電子スチルカメラの制御方法。

【請求項5】 光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラの制御方法であって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段による所定の選択によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータと、このファイル名称のデータに付随した連番データをカウントアップして得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを付与して前記記憶部に記憶することを特徴とする電子スチルカメラの制御方法。

【請求項6】 光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラの制御方法であって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段によってファイル名称が入力された際に、このファイル名称と、前記画像データよりも前の画像データに対応するファイル名称とを比較し、同一ファイル名称があった場合には、この同一ファイル名称のデータと、直前の同一ファイル名称のデータに付随した連番データをカウントアップして得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを、前記リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して付与して前記記憶部に記憶することを特徴とする電子スチルカメラの制御方法。

【請求項7】 光電変換素子からの信号を画像データに変換後、コンピュータによって、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶させる電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体であって、該制御プログラムは、コンピュータに、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段による所定の選択によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータを有する新たなファイル名のデータを付与させて前記記憶部に記憶させることを特徴とする電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体。

【請求項8】 光電変換素子からの信号を画像データに変換後、コンピュータによって、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶させる電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体であって、該制御プログラムは、コンピュータに、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段による所定の選択によって、前記画像

データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータと、このファイル名称のデータに付随した連番データをカウントアップさせて得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを付与させて前記記憶部に記憶させることを特徴とする電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体。

【請求項9】 光電変換素子からの信号を画像データに変換後、コンピュータによって、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶させる電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体であって、該制御プログラムは、コンピュータに、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段によってファイル名称が入力された際に、このファイル名称と、前記画像データよりも前の画像データに対応するファイル名称とを比較させ、同一ファイル名称があった場合には、この同一ファイル名称のデータと、直前の同一ファイル名称のデータに付随した連番データをカウントアップさせて得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを、前記リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して付与させて前記記憶部に記憶させることを特徴とする電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラおよび電子スチルカメラの制御方法並びに電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の電子スチルカメラにおいては、特開平1-321786号公報によって開示されているように、1撮影単位毎に画像データに対して、入力手段（テンキー、アルファベットキー等）等によってファイル名称を付与する技術がある。このファイル名称は、電子スチルカメラからパソコンに画像データを取り出して見るときに、検索上（管理上）使用されるものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、この従来の技術においては、ファイル名称を1撮影単位毎の画像データに対して付与することについては記載されているが、同一のファイル名称を付与することについては想定していない。

【0004】そのため、各画像データに対して同一のファイル名称を付与して管理したいときは、たとえ当該撮影以前に同じファイル名称を使用したことがあっても、1撮影単位の撮影終了後に、必ずファイル名称を入力手

段によって、ファイル名称の全体を再入力する必要があった。そのため、ファイル名称の入力には、手間がかかる。

【0005】尚、検索上の技術として、上述のものよりも向上させたものとしては、特開平6-105274号公報に開示されたものがある。この中では、画像の特定領域に関連付けて、補助情報を一緒に記録できる電子スチルカメラに関する技術が開示されている。しかし、同一のファイル名称を付与することについては想定していない。そのため、ファイル名称の入力には、やはり手間がかかる。

【0006】ところで、従来の電子スチルカメラとしては、このようなファイル名称を入力する入力手段は持たず、単に、撮影の順番を示す連番（例えば、00、01、02、・・・）だけが、ファイル名として1撮影単位毎の画像データに対して自動的に付与されるものがある。しかし、単に連番のみのファイル名では、検索上有意義なものとなっていない。

【0007】本発明の主たる目的は、ファイル名称等のファイル名の入力の手間が少ない電子スチルカメラおよび電子スチルカメラの制御方法並びに電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記問題を解決するために、本発明に係る電子スチルカメラは、光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段（例えば文字キー等のキー）によって入力されたファイル名称のデータを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラであって、リリーススイッチ（いわゆるシャッターボタン）がオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段による所定の選択によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータを有する新たなファイル名のデータを付与して前記記憶部に記憶する構成とする。

【0009】よって、本発明に係る電子スチルカメラの場合には、前記入力手段において、所定の選択をする、直前のファイル名称を利用して、新たなファイル名の中のファイル名称の入力の手間を省くようにしている。この構成は、例えばファイル名称が、撮影場所であった場合であって、同一場所で複数枚の撮影をするときに非常に有効である。

【0010】本発明に係る電子スチルカメラは、光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラであって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手

段による所定の選択によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータと、このファイル名称のデータに付随した連番データをカウントアップして得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを付与して前記記憶部に記憶する構成としてもよい。

【0011】よって、この本発明に係る電子スチルカメラの場合には、新たなファイル名の中のファイル名称と連番との入力の手間を省くことができる。

【0012】本発明に係る電子スチルカメラは、光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラであって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段によってファイル名称が入力された際に、このファイル名称と、前記画像データよりも前の画像データに対応するファイル名称とを比較し、同一ファイル名称があった場合には、この同一ファイル名称のデータと、直前の同一ファイル名称のデータに付随した連番データをカウントアップして得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを、前記リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して付与して前記記憶部に記憶する構成としてもよい。

【0013】よって、この本発明に係る電子スチルカメラの場合には、以前入力したファイル名称を自動検索し、同一ファイル名称が使用されていれば、直前の同一ファイル名称に付随した連番データをカウントアップして得られた連番データが、前記リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して付与される連番データ部分とされる。そのため、新たなファイル名に対して、以前のファイル名と同一ファイル名（同一のファイル名称+連番）を重複して付与するおそれがない。この構成は、例えばファイル名称が、撮影場所であった場合であって、別の場所で撮影後に、また、同じ場所に戻って撮影するとき非常に有効である。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態に係る電子スチルカメラを図1～図3を参照しつつ説明する。

【0015】図1は本発明の実施の形態に係る電子スチルカメラを示す概略的ブロック図、図2は本発明の実施の形態に係る電子スチルカメラの一部を示す概略図であって、同図（A）は電子スチルカメラの背面側に設けられた表示部の表示状況を示す概略図、同図（B）は電子スチルカメラの背面側に設けられた表示部の別の表示状況と入力手段とを示す概略図、図3は本発明の実施の形態に係る電子スチルカメラの処理手順を示すフロー図である。

【0016】本発明の実施の形態に係る電子スチルカメ

ラ10は、光電変換素子100と、この光電変換素子100からの信号を画像データに変換するための画像データ変換部110と、この画像データ変換部110からの画像データと後述のファイル名（ファイル名称+連番）のデータとを記憶する記憶部120と、この記憶部120からの画像データを復元するための画像復元部130と、この画像復元部130において復元された画像等を表示させる表示部140と、これらを制御する制御部150と、ファイル名称の入力と、制御部150にファイル名のデータに関する指示とをするための入力手段160とを備えている。

【0017】画像データ変換部110は、画像処理回路111と画像圧縮回路112とを有している。記憶部120は、例えば、ICメモ리카ード、フロッピーディスク、MD等の着脱可能な記憶媒体である。画像復元部130は、画像伸長回路131と画像再生回路132とを有している。表示部140は、例えば、液晶表示装置である。

【0018】制御部150は、CPU151（コンピュータ）と、このCPU151用のプログラムメモリ151（制御プログラムを記録した記録媒体）とを有している。プログラムメモリ151には、ファイル名を画像データに対して付与するためのソフトウェアの他に、図示しない文字データも記憶されている。制御部150はOSD機能も有しており、画像再生回路132にスーパーインポーズさせるデータを送るようになっている。

【0019】入力手段160は、図2（B）に示されるように、例えば、テンキータイプのキーである。キーの種類としては、数字・ひらがな文字・アルファベット文字・アスタリスクマーク（*）・シャープマーク（#）を選択するための文字キー161と、漢字変換するための変換キー162と、変換後に文字確定させるための入力キー163とを有する。

【0020】電子スチルカメラ10は、この入力手段160によって、前記画像データに対して、1撮影単位毎に、ユーザの必要に応じて、付与したいファイル名称を入力できるようになっている。ファイル名称は、例えば、撮影場所に関するもので、「公園」、「遊園地」、「海岸」、・・・といったもので、連番は、「001」、「002」、「003」、・・・といったものである。よって、ファイル名は、例えば「公園001」、「公園002」、・・・のようになる。

【0021】ただし、例えば、ユーザがファイル名称を入力する必要がないとして、ファイル名称を入力しなかった場合には、ファイル名は連番だけとなり、例えば「001」、「002」、「003」、・・・のようになる。

【0022】尚、代表的な撮影場所は、プログラムメモリ151に記憶されており、例えば、文字キー161で「こ」を選択後、変換キー162を押すと「公園」等の

「こ」から始まる言葉が自動的に呼び出されるようになっている。また、ユーザがよく使用する言葉はプログラムメモリ151に記憶できるようになっている。

【0023】また、電子スチルカメラ10は、リリーススイッチ（図示省略）がオンされて得られた画像データに対して、入力手段160による所定の選択（キーによる選択）によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータと、このファイル名称のデータに付随した連番データを+1（つまりカウントアップ）して得られた連番データとからなる新たなファイル名を付与して記憶部120に記憶する手段を有している。

【0024】更に、電子スチルカメラ10は、リリーススイッチ（図示省略）がオンされて得られた画像データに対して、入力手段160によってファイル名称が入力された際に、このファイル名称と、前記画像データよりも前の画像データに対応するファイル名称とを比較し、同一ファイル名称があった場合には、この同一ファイル名称のデータと、直前の同一ファイル名称のデータに付随した連番データを+1（つまりカウントアップ）して得られた連番データとからなる新たなファイル名を、前記リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して付与して記憶部120に記憶する手段も有している。

【0025】これらの2つの手段は、入力手段160による後述するような選択と、これに伴う制御部150の動作によって実現されている。

【0026】このような電子スチルカメラ10は、図3に示されるフローで処理が進むようになっている。

【0027】初期状態は、図示しない電源スイッチをオンし、電子スチルカメラ10を起動させ、リリーススイッチ（図示省略）をオンして、1つの被写体を撮影終了した状態である。被写体は、図2に示すように、ここでは車とした。連番の初期値は000である。この初期状態においては、光電変換素子100からの撮影された被写体に関する信号は、画像データ変換部110によって画像データに変換され、記憶部120に記憶されている。一方、この画像データ（最初の画像データ）は、画像復元部130にて復元され、撮影された被写体の画像が、表示部140にて表示されている。

【0028】尚、以下において、「ファイル名を付与する。」とは、「新たなファイル名を付与して記憶部120に記憶する。」を略したものである。

【0029】この初期状態の後、制御部150（以下の処理・判断を行う。）は、表示部140に、図2（A）に示されるように、「ファイル名称を入力しますか？ はい（1） いいえ（2） 前回の連番（3）」をスーパーインポーズさせる（S1）。

【0030】この際、撮影された被写体の画像が、前記スーパーインポーズされた文字によって確認しづらくな

るため、前記スーパーインポーズされた文字は、例えば、1秒ごとに点滅表示させるとよい。

【0031】次に、「更にもう1回、リリーススイッチ（図示省略）がオンされたか？」（S2）、または、「はい（1）が選択されたか？」（S4）、または、「いいえ（2）が選択されたか？」（S10）、または、「前回の連番（3）が選択されたか？」（S12）の何れが選択されたかを判断する一連のルーチンに入る。この一連のルーチン中の処理（S2、S4、S10、S12）の順番は入れ代わってもよい。

【0032】ここで、「更にもう1回、リリーススイッチ（図示省略）がオンされたか？」（S2）とは、ユーザが、前記（S4）、（S10）、（S12）の選択をすることなく、直ちに次の撮影（この例では、2番目の撮影）をしたかどうかの判断である。

【0033】もし、S2の判断がYESならば、「1つ前の画像データ（この例では、前記最初の画像データ）に対して、直前の連番のみのファイル名の数字（この例では、初期値000）に+1したファイル名（001）を付与する。」（S3）の処理後、処理がENDとなる。つまり、この例では、この処理で、前記最初の画像データが記憶されている記憶部120に、この最初の画像データと対応付けて、この最初の画像データに関する新たなファイル名「001」のデータが記憶される。

【0034】一方、S2の判断がNOならば、「はい（1）が選択されたか？」（S4）を判断する。即ち、「1」という数字の文字キー161がON（選択）されたかを判断する。

【0035】そして、もし、S4の判断がYESならば、制御部150は、表示部140に、前記スーパーインポーズの文字の代わりに、「ファイル名称を入力して下さい。」をスーパーインポーズさせる（S5）。

【0036】続いて、「ファイル名称が入力されたか？」を判断する（S6）。例えば、文字キー161で「こ」を選択後、交換キー162を押して「公園」を選択し、入力キー163で確定させると、この「ファイル名称が入力されたか？」は、YESと判断される。

【0037】YESと判断されると、「既ファイル（既に記憶部120に記憶されているファイル名）に同一のファイル名称があるか？」が判断される（S7）。つまり、この例では、「公園」というファイル名称と同一のファイル名称が、既に記憶部120に記憶されていないかどうかを、記憶部120から、新しい画像データに付与されたファイル名称のデータから古い画像データに付与されたファイル名称のデータ方向に遡りつつ判断する。即ち直前の同一ファイル名称を探す。

【0038】尚、この例では、記憶部120に記憶されている画像データは、まだ1つだけ、つまり前記最初の画像データのみであり、古い画像データはまだ記憶されていない。よって、直前の同一ファイル名称がないた

め、ここでの判断は、NOとなる。

【0039】その際には、「入力されたファイル名称（公園）に、連番001を付けたファイル名（公園001）を付与する。」（S9）の処理後、処理がENDとなる。つまり、この例では、この処理で、前記最初の画像データが記憶されている記憶部120に、この最初の画像データと対応付けて、この最初の画像データに関する新たなファイル名「公園001」のデータが記憶される。

【0040】一方、ちなみに、この図3の処理全体が何
10 回か繰り返されて後、S7の判断がYESとなる場合、つまり、同一のファイル名称（公園）が存在した場合には、「その同一のファイル名称（公園）と、直前の同一ファイル名称（公園）に付随した連番（例えば002であったとする。）に+1した連番（003）とからなるファイル名（公園003）を付与する。」（S8）の処理後、処理がENDとなる。つまり、この処理で、当該画像データが記憶されている記憶部120に、この当該画像データと対応付けて、この当該画像データに関する新たなファイル名「公園003」のデータが記憶され
20 る。

【0041】ところで、S4の判断がNOならば、「いいえ（2）が選択されたか？」を判断する（S10）。即ち、「2」という数字の文字キー161がON（選択）されたかを判断する。

【0042】もし、S10の判断がYESならば、「直前の連番のみのファイル名の数字に+1したファイル名を付与する。」（S11）の処理後、処理がENDとなる。この例では、直前の連番のみのファイル名は、初期値000なので、000に+1したファイル名（00
30 1）を前記最初の画像データに付与する。つまり、この例では、この処理で、前記最初の画像データが記憶されている記憶部120に、この最初の画像データと対応付けて、この最初の画像データに関する新たなファイル名「001」のデータが記憶される。

【0043】一方、S10の判断がNOならば、「前回の連番（3）が選択されたか？」を判断する（S12）。即ち、「3」という数字の文字キー161がON（選択）されたかを判断する。

【0044】もし、S12の判断がYESならば、「直
40 前のファイル名称と、このファイル名称に付随した連番に+1した連番とからなるファイル名を付与する。」

（S13）処理後、処理がENDとなる。ただし、この例では、直前のファイル名称は、存在しないので、連番も存在せず000である。よって、000+1つまり001なるファイル名を前記最初の画像データに付与する。つまり、この例では、この処理で、前記最初の画像データが記憶されている記憶部120に、この最初の画像データと対応付けて、この最初の画像データに関する新たなファイル名「001」のデータが記憶される。
50

【0045】一方、S12の判断がNOならば、S2の判断に戻って、「文字キー161の1、2、3、またはリリーススイッチがONされるまで、上記処理（S2、S4、S10、S12）を繰り返す。

【0046】次に、以上の処理が何回か繰り返されて、画像のデータと、この画像のデータに付与したファイル名のデータが複数、記憶部120に記憶された後の上記処理のうち、S3、S8（ただし、このS8は上記にて説明済みのため説明を省略する。）、S9、S11、S13について説明する。

【0047】S3の処理は、例えば、「1つ前の画像データ（S2の判断がNOであるときの画像のデータと同じ。）に対して、直前の連番のみのファイル名の数字（例えば、005であるとする。）に+1したファイル名（006）を付与する。」となる。

【0048】S9の処理は、例えば、「入力されたファイル名称（例えば、「遊園地」とする。）に、連番001を付けたファイル名（遊園地001）を付与する。」となる。

【0049】S11の処理は、例えば、「直前の連番のみのファイル名の数字（例えば、005であるとする。）に+1したファイル名（006）を付与する。」となる。

【0050】S13の処理は、例えば、「直前のファイル名称（例えば、「海岸」であるとする。）と、このファイル名称（海岸）に付随した連番（例えば002であるとする。）に+1した連番（003）とからなるファイル名（海岸003）を付与する。」となる。

【0051】このように、電子スチルカメラ10においては、ファイル名称を入力した場合には、S8の処理のように、同一のファイル名称を以前付与していないかを検索し、同一のファイル名称を以前付与していれば、直前の同一のファイル名称に付随した連番の続きの番号（連番）が付与される。よって、上述の例で言えば、公園から、海岸に行き、再度、公園にて撮影したときでも、新たなファイル名の連番部分には、最初に公園に行
て撮影された連番部分の続きの番号（連番）が自動的に付与される。

【0052】よって、連番を何番にしたらいのか考えつつ手動で入れるという手間はなく、また、新たなファイル名に対して、誤って以前のファイル名と同一のファイル名を重複して付与するおそれもない。

【0053】また、電子スチルカメラ10においては、1つ先に撮影した画像のデータに付与したファイル名称（例えば、「海岸」であるとする。）と同一ファイル名称（海岸）を、続いて使用したのでよい場合に、S12・S13の処理のように、「3」という数字の文字キー161をON（選択）するだけで、自動的に、新たなファイル名のファイル名称を「海岸」とする。それと共に、前記1つ先に撮影した画像のデータに付随させた連

番（例えば 002 であるとする。）の続きの番号（003）が、このファイル名称（海岸）に付随させられ、「海岸 003」という新たなファイル名が自動的に所望の画像データに付与される。

【0054】よって、このような場合には、新たなファイル名のファイル名称の入力を非常に簡略化できる。

【0055】尚、本発明の実施の形態に係る電子スチルカメラ 10 において、S8 の処理の際に、「同一のファイル名称でなく、別のファイル名称を付け直すか？」という判断を入れて、一方、入力手段 160 に訂正キーを設けてもよい。また、この訂正キーは、S5 の処理後、ファイル名称を入力する際に、ミスをしたときにも利用できる。

【0056】本発明の実施の形態に係る電子スチルカメラ 10 において、ファイル名のデータ部分のみを記憶する記憶部は、記憶部 120 が電子スチルカメラ 10 に固定されているように変更した場合には、記憶部 120 から分離してプログラムメモリ 152 上に設けてもよい。

【0057】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の請求項 1 に係る電子スチルカメラは、光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラであって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段による所定の選択によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータを有する新たなファイル名のデータを付与して前記記憶部に記憶する構成である。

【0058】よって、本発明の請求項 1 に係る電子スチルカメラの場合には、入力手段による所定の選択によって、直前のファイル名称を自動的に再利用する。そのため、本発明の請求項 1 に係る電子スチルカメラは、同一のファイル名称を、後に撮影して得られた画像のデータに付与したい場合（例えばファイル名称が、撮影場所であった場合であって、同一場所で複数枚の撮影をする場合）に、新たなファイル名の中のファイル名称の入力の手間を大幅に省くことができる。したがって、次の撮影に入るための所要時間も大幅に短縮することができ、使用上快適な電子スチルカメラを提供できる。

【0059】本発明の請求項 2 に係る電子スチルカメラは、光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラであって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段による所定の選択によって、前記画像データの直前の画像データに対応するファイル名称のデータと、このファイル名称のデータに付随した連番データを

カウントアップして得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを付与して前記記憶部に記憶する構成である。

【0060】よって、本発明の請求項 2 に係る電子スチルカメラの場合には、本発明の請求項 1 に係る電子スチルカメラの場合と同様に新たなファイル名の中のファイル名称の入力の手間を大幅に省くことができる。また、新たなファイル名の中のファイル名称に付随させる連番の入力の手間も省くことができる。したがって、次の撮影に入るための所要時間も大幅に短縮することができ、使用上快適な電子スチルカメラを提供できる。一方、ユーザは、連番以外にファイル名称も有するファイル名を活用して、従来、連番だけのファイル名で検索するときよりも、有意義な検索が可能となる。

【0061】本発明の請求項 3 に係る電子スチルカメラは、光電変換素子からの信号を画像データに変換し、この画像データを、入力手段によって入力されたファイル名称のデータと、画像データ毎であって同一のファイル名称毎の連番データとを有するファイル名のデータと共に記憶部に記憶する電子スチルカメラであって、リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して、前記入力手段によってファイル名称が入力された際に、このファイル名称と、前記画像データよりも前の画像データに対応するファイル名称とを比較し、同一ファイル名称があった場合には、この同一ファイル名称のデータと、直前の同一ファイル名称のデータに付随した連番データをカウントアップして得られた連番データとを有する新たなファイル名のデータを、前記リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して付与して前記記憶部に記憶する構成としてもよい。

【0062】よって、本発明の請求項 3 に係る電子スチルカメラの場合には、以前入力したファイル名称を自動検索し、同一ファイル名称が使用されていれば、直前の同一ファイル名称に付随した連番データをカウントアップして得られた連番データが、前記リリーススイッチがオンされて得られた画像データに対して付与される連番データ部分とされる。そのため、新たなファイル名に対して、以前のファイル名と同一ファイル名（同一のファイル名称＋連番）を重複して付与するおそれがない。この構成は、例えばファイル名称が、撮影場所であった場合であって、別の場所で撮影後に、また、同じ場所に戻って撮影するときに非常に有効である。

【0063】尚、本発明の請求項 4～請求項 6 に係る電子スチルカメラの制御方法と、本発明の請求項 7～請求項 9 に係る電子スチルカメラの制御プログラムを記録した記録媒体との効果は、それぞれ上述の本発明の請求項 1～請求項 3 に係る電子スチルカメラの効果と同様である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施の形態に係る電子スチルカメラを

示す概略的ブロック図である。

【図2】本発明の実施の形態に係る電子スチルカメラの一部を示す概略図であって、同図(A)は電子スチルカメラの背面側に設けられた表示部の表示状況を示す概略図、同図(B)は電子スチルカメラの背面側に設けられた表示部の別の表示状況と入力手段とを示す概略図である。

*【図3】本発明の実施の形態に係る電子スチルカメラの処理手順を示すフロー図である。

【符号の説明】

10 電子スチルカメラ

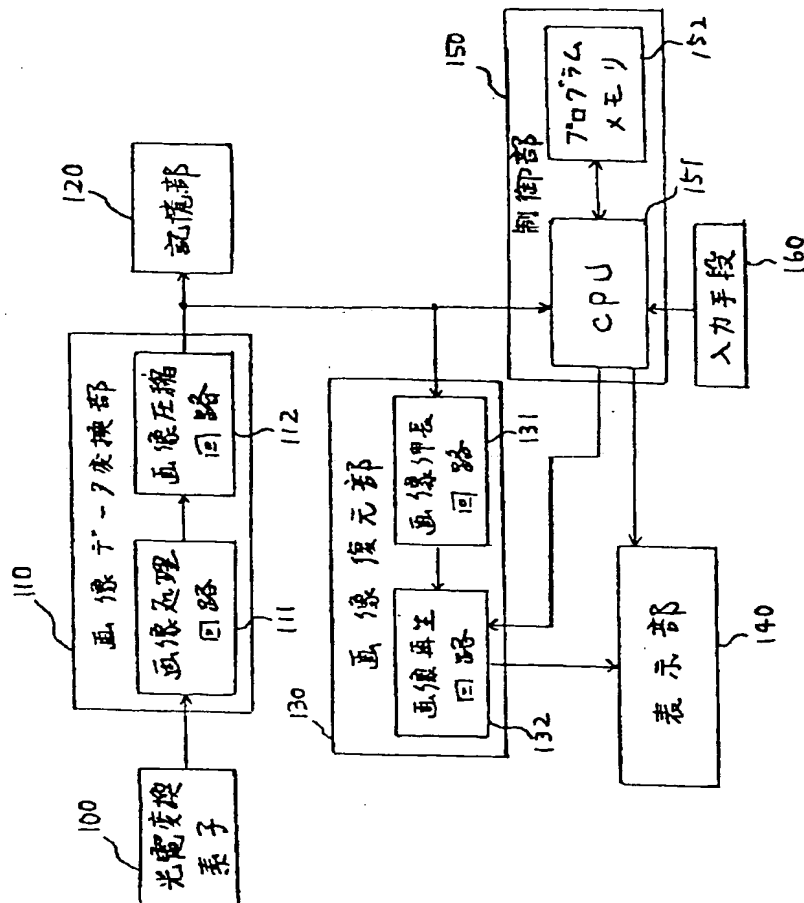
100 光電変換素子

120 記憶部

* 160 入力手段

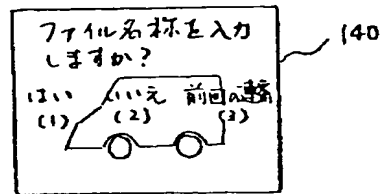
〔図1〕

電子スチルカメラ
10

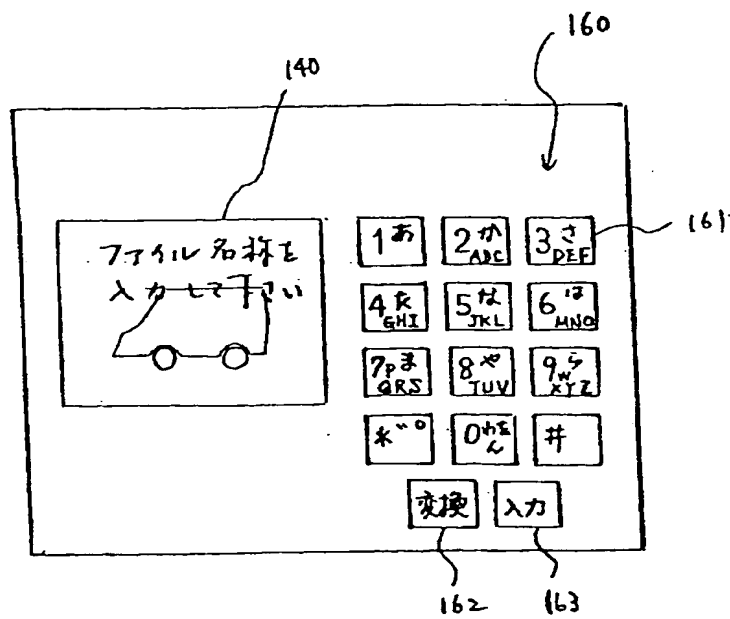


【図2】

(A)



(B)



【図3】

